



# 港南区制 周年に寄せて

— 港南区から羽ばたいた皆さんからのメッセージ —

港南区で育ち、文化芸術・スポーツなど多方面で活躍をされている皆さんから、  
お祝いのメッセージをいただきました。



## のぐち まり 野口 真里さん

マリエンバード工房株式会社代表。南台小学校、笹下中学校出身。  
主に建築と一体となったガラス造形による空間アート＝アーキテクチュアガラス  
アート作品を手がける。横浜における代表作の1つに横浜駅東口「PORTA  
横濱三塔物語」ガラスモニュメントがあるほか、多数の作品を制作。

**港** 南区制50周年、おめでとうございます。

一昨年に新しい庁舎が建てられた折り、その完成記念に横浜港南ライオンズクラブさまからの制作依頼を受け、区の花である「ひまわり」をモチーフにデザインした「港南の夢時計-カドラン・ロードスター」を納めさせていただけたことは地元出身のガラス造形作家としてとても名誉なことでした。

昭和44年と言うと、私がちょうど南台小学校に通い始めたころでしょうか？

あの頃を思い出すと感慨一入です。

通学路だった桜道は歩道が舗装されておらず、土の道でしたからデコボコしていてとても歩きにくかったけれど、四季折々、それぞれ季節の中心にいるような心地で過ごす日々でした。

春、見上げると空が見えないくらい満開の桜色のトンネル、風が吹けば、まるで舞台上に立っているかのような花吹雪。

夏、緑葉の生い茂り涼しい木陰を行けば道路一面を這う可愛い毛虫、踏まないように歩きながら桜の青黒く熟した実を拾いつぶしては手を染めて。

秋、紅葉した落ち葉の上をシャリシャリとわざと踏ん

で蹴散らして、腕いっぱい拾い集めた枯葉を同級生と空に向かって撒き散らす。

冬、車も上がって来られない降り積もる雪の坂は子どもたちのスキー天国、塵取りや段ボールをお尻に敷いての坂滑り。

今や舗装されて歩きやすくなり、こまわり君も通るようになって、すっかり便利な近代道路になったけれど、あの頃の美しい桜並木が私の故郷“港南の風景”です。ソメイヨシノの寿命は口惜しいことにおよそ50年ほどらしく、あの頃の桜はもう一本もなくなり新しい別の品種の桜が植えられました。

これから先、桜道を通学する子どもたちの心には、どんな風景が残っていくのでしょうか。

いつまでも誇らしい地元の原風景を抱きながら、育っていってくれればいいなあと希っています。



いしい ゆうや  
石井 裕也さん

芹が谷小学校、芹が谷中学校出身。中日ドラゴンズ、横浜ベイスターズ、北海道日本ハムファイターズで活躍の後、2018年に現役を引退。現在は北海道日本ハムファイターズの打撃投手。

**私** は港南区で生まれ、高校を卒業するまで芹が谷に住んでいました。生まれ育った港南区が区制50周年を迎え、とても嬉しく思います。本当におめでとうございます。

小学2年生の時、兄の影響もあり、三枝木台少年野球チームで野球を始めました。思い出深いのは、横浜ベイスターズの選手が来てくれた小学6年生の時の少年野球教室です。私はピッチャーだったので、練習のときに三浦大輔さんが見てくれて、「いいピッチャー



©H.N.F.

だな」と褒めてくれたことが印象に残っています。港南区は昔に比べて大きな建物が増えて便利になったと思います。小学1年生で、ちびっこオリンピックに出て、ソフトボール投げで1位になったことは良い思い出です。

今でも年末には地元に戻って、友人たちと集まって楽しい時間を過ごしています。

私は先天性難聴ですが、プロ野球選手になるという夢をかなえました。大事なことは落ち込んだ時にどうするかだと思います。落ち込んでも夢を持ち続けていれば、また頑張ることができます。皆さんも困難なことがあっても、夢を持ち続けることを忘れず、頑張りたいと思います。



©H.N.F.

もうり ふみか  
毛利 文香さん

上大岡小学校、笹下中学校出身。ソウル国際音楽コンクール第1位、パガニーニ国際ヴァイオリンコンクール第2位など、数々の国際コンクールで活躍し、第27回横浜文化賞文化・芸術奨励賞、ホテルオークラ音楽賞など受賞多数。現在はドイツ留学中。

**港** 南区制50周年、本当におめでとうございます。私は、区内の学校に通っていた小・中学生時代からドイツに留学している現在に至るまで、様々な形で区と関わらせていただけてきました。



©Hisashi Morifuji

小学校高学年の時に、港南区子どもフォーラムに参加してより良いまちづくりについて考えたり、区の代表としてよこはま子ども国際平和スピーチコンテストに出場したことは、とても貴重な思い出です。また最近では、ヴァイオリニストとして、新区

庁舎のお披露目の場にて演奏させていただいたり、ひまわりの郷という素敵なホール的舞台にも何度か立たせていただいております。地元にて自分の音楽をお届けできることは私にとってこの上ない喜びとなっています。そんな大切な地元港南区の素晴らしい節目に、このようにして一言贈らせていただくことを大変嬉しく思うと共に、区の益々のご発展を心よりお祈りしております。



©Hisashi Morifuji